ドローン外壁点検 報告書サンプル

匿名のビル外壁調査 / 公開用の短縮版

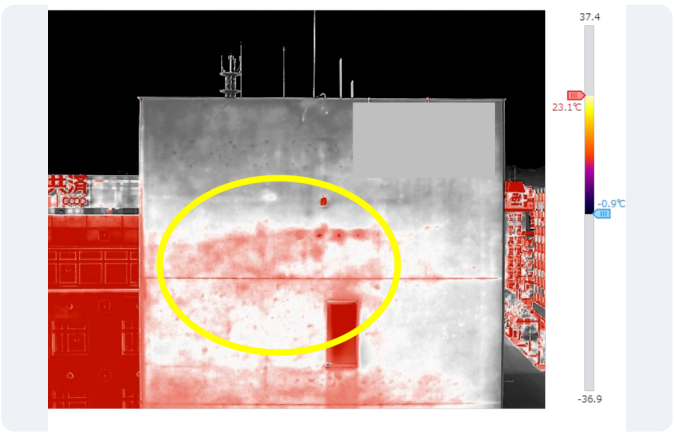
可視光画像と赤外線画像を照合し、確認した状態と追加調査が必要な箇所を整理する報告書の例です。外壁・屋上の報告書から、代表的な画像と説明を抜粋・再構成しました。

調査対象	ビルの外壁・屋上（建物名・所在地・調査日は非掲載）
調査方法	ドローンによる可視光・赤外線撮影、画像の照合
使用機材	DJI Matrice 4T
調査担当	李 忠烈 / 株式会社ＢＦＨＤ

01 東面：外壁の温度分布を比較



可視光：外壁面と開口部の外観を記録。



赤外線：帯状に広がる温度分布の違いを記録。

画像で確認したこと

赤外線画像に、外壁面の帯状の温度差が見られます。元報告書では、浮きや含水の疑いとして検討しています。看板や金属部などは、材質や反射の影響も考慮する対象です。

次に確認すること

温度差だけで劣化や含水を確定せず、現地の状況、撮影条件、外壁の構成を確認し、必要に応じて打診などの詳細調査を行います。

元報告書：２・４ページ。画像の色や明るさは表示設定によって変わり、損傷の程度と一対一には対応しません。

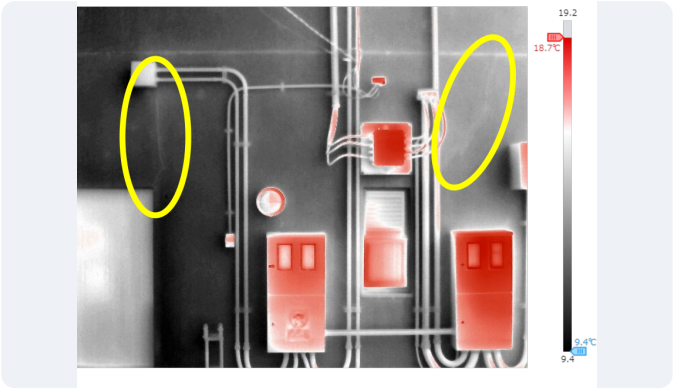
画像と確認結果の記録例

代表的な確認箇所

02 西面：外壁のひび割れ等



可視光：外壁左側のひび割れ等を記録。



赤外線：同じ撮影対象の温度分布を併記。

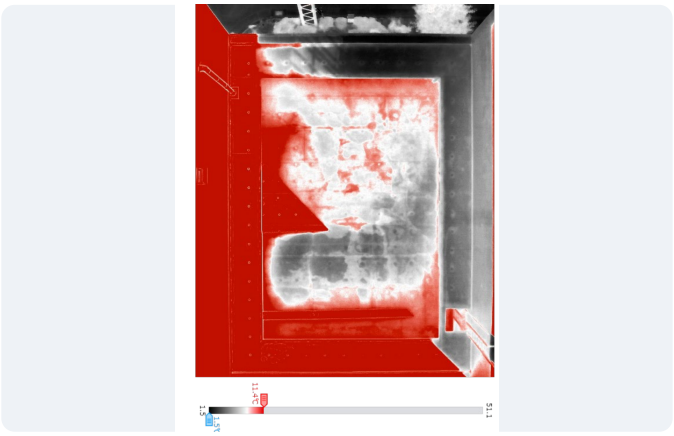
元報告書では、写真左側のひび割れと右上の劣化を指摘しています。ひび割れは近接確認や寸法測定等で状態を把握し、補修の要否と方法を検討します。深さや構造への影響は、この画像だけでは判断しません。

外壁点検報告書：37ページ。

03 屋上：防水シートの破れ



可視光：防水シートの破れが見られる箇所。



赤外線：屋上の温度分布を記録。

屋上点検報告書 5 ページの防水シートの破れを示した例です。破れの範囲や周辺の防水層を現地で詳しく確認し、補修・張替え等を検討します。建物内部への浸水や漏水原因は、この画像だけでは確定しません。

屋上点検報告書：5 ページ。各画像は元資料から抜粋。囲み線・伏せ字は元資料の表示を引き継いでいます。

次の調査・修繕につなぐ報告

納品内容と調査結果の扱い

確認結果と推奨する次の対応

撮影・確認した内容	追加で確認する内容
東面の帯状の温度差	外壁の構成や撮影条件を確認し、必要箇所の打診等を検討
西面のひび割れ等	幅・範囲・深さなどを確認し、補修方法を検討
屋上防水シートの破れ	破れの範囲や防水層を確認し、補修・張替え等を検討

報告書にまとめる内容

調査の概要、撮影範囲、可視光・赤外線画像、確認結果、追加確認や対応の提案などを整理します。写真の納品だけか、画像解析や報告書作成まで含むかは、ご依頼前に打ち合わせます。

このサンプルの位置づけ

本資料は、当社が実施した外壁・屋上調査の報告書から一部を抜粋して公開向けに編集した、納品イメージの紹介です。新たな現地調査や再解析を行った報告書ではありません。

赤外線画像には日射、影、反射、材質、周囲の熱源などが影響します。浮き・含水・雨漏り原因の確定には、状況に応じた追加調査が必要です。本資料は建物全体の安全性を保証するものではありません。

外壁・屋根・屋上の点検をご相談ください

株式会社ＢＦＨＤ ドローン事業部・スカイドロシー
お電話：0800-805-0733
お問い合わせ：https://dorothy-japan.com/contact/

出典：当社が実施したビル外壁調査の報告書（全48ページ）および屋上点検報告書（全13ページ）から抜粋。建物の特定を避けるため、所在地・調査日・劣化ランクは非掲載。